

なるほどの♪



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

3月号

【めあて一まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】

まとめにつながるキーワードを引き出す教師の発問・指示について考える！

2月23日に開催した西部地区研究主任等情報交換会の中で例示したワークシートをもとに、まとめ・振り返りにつながる発問等を紹介しています。次年度の研究や授業づくりにお役立てください。

小学校外国語活動・外国語にLet's Try! We Can!

小学校外国語活動・外国語の指導に不安をお持ちの先生方は多くいらっしゃると思います。新年度までに、「教師用指導編」「デジタル教材」を確認することで、安心してスタートすることができます。また、参考までに、外国語活動と外国語を対比させ、それぞれの特徴をお示ししています。

目的を明確にした家庭学習の指導

3月配付予定の冊子「学力向上を支える基盤づくりに向けて」（鳥取県教育委員会）から、目的を明確にした家庭学習の実践例を挙げています。漢字練習一つとっても、目的に応じた指導が大切となることが分かります。

学校全体で育てる6年間の土台づくり ～スタートカリキュラムの改善に向けて～

日野町版スタートカリキュラムをもとに、6年間の小学校生活の土台を築くポイントをいくつか紹介しています。次年度の各校のスタートカリキュラム改善のための参考としてお使いください。

特別支援教育ほっと通信

新学習指導要領では、総則に加え全ての教科別に、学びの過程で考えられる困難さが示されています。一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行うためには、困難さの状態を教師が把握し、それに対する指導上の工夫の意図を明確にした上で、具体的な手立てを講じることが大切となります。

西部地区研究主任等情報交換会では、様々な教科に応用できるように演習を通して、まとめ・振り返りの具体例や、まとめにつながるキーワードを引き出す発問について協議しました。演習後に例示したワークシートをもとに紹介しますので、次年度の研究や授業づくりにお役立てください。

【めあてーまとめ・振り返りのある授業づくりの提案】

まとめにつながるキーワードを引き出す教師の発問・指示について考える！

めあて	子供の発言及び教師の発問・指示	まとめ	振り返り
<p>小学校3年 算数科「小数」</p>	<p><問題> ジュース0.6Lと0.7Lをあわせると何Lですか。</p>	<p>ポイント①</p>	<p>ポイント②</p>
<p><めあて> 小数のたし算 やひき算の仕 方を考え、説 明しよう。</p>	<p><めあてを引き出すための発問> ・これまでどんな数のたし算やひき算を学習しましたか。 ・小数も整数や分数のようにたしたり、ひいたりできるでしょうか？</p> <p>整数や分母が同じ分数の計算を学習しました。 小数もたしたり、ひいたりできると思います。</p> <p><めあての設定></p> <p><見通しをもてるような発問> ・何を使って考えれば計算の仕方を説明できそうですか？</p> <p>数直線や1Lマスを使って考えればいいと思います。 小数を分数に直すと計算できそうです。</p> <p><キーワードを引き出す発問> ・同じ考え方をしているところはありませんか？</p> <p>深い学びの視点 <小数の加法・減法を分数と統合的に考える></p> <p>0.6は0.1が6こで、0.7は0.1が7こ考えています。 どれももとになる小数や分数のいくつ分で考え6+7の計算をしています。</p> <p><まとめを引き出す発問> ・数字が変わってもみんなの考えた計算の仕方できますか。 ・ひき算にもみんなの考えた計算の仕方は使えますか。</p> <p>数字が変わっても、もとになる数のいくつ分で考えて計算すれば整数と同じように計算できます。 ひき算に変わっても同じように、もとになる数のいくつ分で考えると整数と同じように計算できます。</p>	<p>学習指導要領解説や評価規 準の作成、評価方法等の工 夫改善のための参考資料を もとにまとめを設定します。</p> <p><まとめ> 小数のたし算やひき算は、も とになる数(0.1)のいくつ分 で考えると整数と同じように 計算できる。</p>	<p>この時間で目標を達成した子供の 姿を想定して、具体的なゴールイ メージを持つことが大切です。</p> <p><振り返り> 小数のたし算やひき算は、もとなる 数(0.1)のいくつ分で考えると整 数と同じように計算できると分かりま した。</p> <p>子供からさらに次のような振り返 りを引き出すために...</p>
<p>ポイント③</p> <p>まとめめあて が正対するこ とが大切です。</p>		<p>ポイント④</p> <p>計算の仕方を考えるだけで は子供の思考は深まりませ ん。計算の意味を考える必 要があります。まとめにつ ながるキーワードを引き出 す鍵になる発問が必要で す。子供の発言を想定し、発問 や指示をあらかじめ用意し ておくことが大切です。</p>	<p>関連付けて</p> <p>この考え方は、もとになる分 数のいくつ分で考える 分数の計算の仕方と 同じでした。</p>
		<p>レベルアップ!</p> <p>新しい学びをもとに既存の 知識を捉え直すことができ るような発問をすることで、 子供たちの深い学びにつな げることができます。</p>	<p>教師の関わり</p> <p>もとにする数のいくつ分と 考えた勉強はありません でしたか？と問う</p> <p>もっと数が大きくなった ら？と問う</p>
			<p>次につながる</p> <p>□. □+□. □のように大きな 数になった場合は、 小数も筆算で計算 できると思います。</p>

小学校外国語活動・外国語にLet's Try! We Can!

いよいよ新年度から、
移行期間がスタート!



外国語の授業を一度も
したことがないので、で
きるかどうか不安です。

新教材にはデジタル教材が付属し
ています。画像や音声等を活用す
れば、授業がしやすくなりますよ。



「教師用指導編」を開いてみましょう

スクリプト

Activity

例1 先生: Hi! The "O" card, please.
れん: Here you are.
先生: Thank you.



教師用指導編に記載されているQRコードを読み込むことで、音声を聞くことができます。



アルファベットの「読み方(名前)」と「音」の違いも、素材の音声を使って学習することができます。

デジタル教材を操作してみましょう

「素材どうぐばこ」の中に、音声や動画、絵本等が収録されています。ゲーム等に使う絵カードや掲示物も簡単に作ることができます。



新年度が始まるまでに全員が1度は必ず見ておくようにすると、安心してスタートすることができますよ。

文部科学省作成のYou Tubeも参考になります。

【デジタル教材の紹介】

<https://www.youtube.com/watch?v=lk4ucWUTQMQ>

外国語活動と外国語の
違いをチェック!!



懇談で聞かれたときに
答えられるようにしたい
な。

保護者会での説明や、校内
研究会での情報共有にお役
立てください!



外国語活動

3年生

4年生

Let's Try!

外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、学習への動機付けを高めることができますようにします。



小学校で扱う語数は600語～700語 ※受容語(聞けば意味が分かるレベルの語)を含める

アルファベット
大文字(26こ)

3年生は覚えやすい大文字から慣れ親しむ。

アルファベット
小文字(26こ)

発音を通して大文字と小文字を結びつける。

名詞(中学年児童にとって身近な動物や食べ物、文房具、教室名など)

動詞

扱う語彙や表現が使われる必然性のある場面を設定し、児童が語彙や表現の意味を推測したり繰り返し使ったりしながら体験的に身に付ける。

聞くこと・話すこと

学習した表現などを使って、友達と自分の思いや考えを伝え合うことで、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

外国語

5年生

6年生

We Can! (Hi, friends)

聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにします。



文字の形、音、読み方

アルファベットには読み方のほかに「音」ということに気付く。

代名詞(三人称)
※He, Sheのみ

代名詞
(三人称)

過去形
(不規則動詞)

より豊かなコミュニケーションになるよう、代名詞、動名詞、過去形などを含む基本的な表現に繰り返し触れるようにする。

聞くこと・話すこと+読むこと・書くこと

ドリル学習のように学ぶのではなく、読んだり書いたりする必然性のある場面を設定して、音声で十分に慣れ親しんだ文や単語を読んだり書いたりする。

目的を明確にした家庭学習の指導

提出状況やページ数
だけにとらわれてい
ませんか？

何のために宿題や自主学習に取り組むのか、それを通してどのような力が付くのか等、目的を明確にして児童生徒に伝えることが大切です。また、その目的を達成するのに適した内容や方法についても検討する必要があります。児童生徒が目的を達成した際は、しっかりとほめて自信を持たせましょう。

実践例 小学校「目的に応じた漢字練習」

漢字練習にも様々な目的があり、それに応じて学習方法を変えていく必要があります。例えば、同じ「詞」という漢字の学習について、目的に応じて以下のように指導することが大切です。

正しい形や筆順の定着を目的とした漢字練習

とめ・はらい・はねや点画の形・長さ等を丁寧に書き写したり、正しい筆順で書いたりすることを意識するよう指導します。

様々な読みや用途を広げることを目的とした漢字練習

様々な熟語を練習することで用途を広げることができます。特に、同じ音訓を持つ漢字や、形が似ている漢字は間違えやすいので、意識的に注釈を加えさせる等、工夫して指導します。

短文の中で使うことを目的とした漢字練習

児童生徒が目的を意識して家庭学習に向かえるように、選択制にしたり、言葉かけをしたりする必要があります。

熟語だけではなく、短文の中でどのように使われるかを意識して課題を設定します。練習できる熟語の数は限られますが、既習の漢字と共にチェックすることができます。



学校全体で育てる6年間の土台づくり

～スタートカリキュラムの改善に向けて～



日野町保小連携推進計画（改訂版）

保小連携プログラム

基礎カリキュラム・交流活動・生活学習



『遊びのなかかなび』を『主体的な学び』へつなぐ
平成30年2月
日野町保小中一貫教育推進委員会

現在、各小学校は、スタートカリキュラム改善の時期です。

日野町では、平成28年度、29年度の「幼保小連携推進モデル事業」実施において、保小連携プログラムを再編成されました。事業をともし「どこの小学校でも、誰が1年生担任になっても実践可能な内容モデル」を提案しておられます。「日野町版10日間スタートカリキュラム」をもとに、6年間の小学校教育の土台を築いていくポイントを紹介しますので、改善のための参考にしてください。

<point1> 入学式当日からカリキュラムスタート

入学式当日の上級生との交流の様子を見る中で、1年生の保護者にとっても今後の小学校教育への安心感が生まれます。全校で学校の決まりを再確認することで、1年生の手本となろうとする上級生の姿やよりよい関わりも生まれます。



おすすめ

<point2> 10日間カリキュラムの設定

校区の園・小学校での話し合いのもと、いつまでをスタートカリキュラム期間とするかを子供の姿に照らして設定します。日野町では、その期間を10日間とし、学校生活や仲間づくりへの不安を取り除き、安心して学校生活に向かえるようにしています。

6. スタートカリキュラム (1) 単元等配当表

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:20~9:30 うきうきタイム	あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備（靴箱、ロッカー、机）、学習に入る前の心の準備（チャイム、トイレ） ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学校で安心感をもって学習に向かえるようにする。	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・あひさつ ・なぞなぞ ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・あひさつ ・なぞなぞ ・読み聞かせ	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・あひさつ ・なぞなぞ ・読み聞かせ
9:35~12:30 2~4校時 休憩を含み弾力的な強い息をする	身体測定 ア1④（行事）	せんせいあのお コ3④（調1） ・すきなものをなかに ・すきなものを教えて （絵を見せながら発表） ・てるてる坊主作り	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方 ・自己紹介	なかよくなる（よろしく） せいな④ ケ2④（調） ・名前を言う ・自己紹介	なかよくなる（よろしく） せいな④ ケ2④（調） ・名前を言う ・自己紹介
	入学式（行事1） 6年生とあそぼうオ2③（調2/3） 2~4校時 いちはねせいになったよオ1④（音1/3）	どっちがおおきなク1④（調1） ・算数セットの使い方 ・ゲーム	みんなであそぼうアウ1④（調1） ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・ころがしドッジボール	みんなであそぼうアウ1④（調1） ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・タイマール	みんなであそぼうアウ1④（調1） ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・タイマール
	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学

<point4> 弾力的な休憩時間
1年担任だけでなく全職員がスケジュールを把握することで、協力体制の整備や、子供への関わりが広がります。

<point7> 各教科等年間指導計画への位置付け
10日間のカリキュラムは、教育課程にのって作成されており、全て各教科等の年間指導計画に位置付けられています。

体育科	
単元名	みんなで あそぼう
目標	友達との関わりを大切にしながら、体を動かすことの楽しさを体験する。
活動のねらい	主な学習活動
<ul style="list-style-type: none"> ○保育所で行っていた遊びを友達と楽しく行う。 ○小学校の体育館や校庭の使い方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保育所で行っていたリズム運動や柔軟体操をする。 ②おもしろいごっこやころがしドッジボールなど、保育所でやったことのある遊びを2年生と一緒にする。 ③体はぐし運動をする。（2人組で手、肩、頭、腰、足などのタッチする部位を変える。グループや全員で輪になったり、チェーンを作ったりする。） ④体育館の安全な使い方を知る。 ⑤保育所でやったことのあるタイヤとびなどを楽しくする。 ⑥校庭にある道具、一つ一つの使い方、遊び方のルールを知り、安全に遊ぶ。 ⑦校庭の安全な使い方を知る。
	合科・関連

中学校区等で保小連携部会等を組織し、部会が中心となって事業を推進することで、職員同士の連携も進み、推進体制も根付いたものになります。スタンダードとなるカリキュラムがあることで、一貫した指導体制も整います。



時間	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
8:20~9:30 うきうきタイム	あいさつ、今日の歌、健康観察、1日の予定、朝の準備の仕方、学習に入る前の心の準備イ1④ ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学校で安心感をもって学習に向かえるようにする。徐々に、朝の会を1年生が進行するようにしていく。	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方	うたでなかよしになろう2②（音1/3） ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせいかいケ1②（調2/3） ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方
9:35~12:30 2~4校時 休憩を含み弾力的な強い息をする	どっちがおおきなク1④（調1） ・あひさつ ・なぞなぞ ・算数セットの使い方	ねんどであそぼうコ3③（調1）	かぞえうじケ3③（調1）	ゆうぐであそぼうア1④（調1） ・整理、行進等集団行動 ・鬼ごっこ ・なぞなぞ	かぞえうじケ3③（調1）
	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学	いちはねせいになったよオ1④（音1/3） ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘かけの仕方 ・給食の準備・食べ方の確認 ・登下校のしゅくたのしいきゅうりよイウ1④（調1） ・上級生の準備を見学
	がっこうだすきオ1②（調2/3） 2年生に自己紹介 2年生と一緒に学校探検	じをかこうケ3③（調2/3） ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 たのしいきゅうりよイウ1④（調1） 自分たちで給食の準備をする。	じをかこうケ3③（調2/3） ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 たのしいきゅうりよイウ1④（調1） 自分たちで給食の準備をする。	じをかこうケ3③（調2/3） ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 たのしいきゅうりよイウ1④（調1） 自分たちで給食の準備をする。	じをかこうケ3③（調2/3） ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習 たのしいきゅうりよイウ1④（調1） 自分たちで給食の準備をする。
	うたでなかよしになろう2②（音1/3）（参観授業）	あいうえおのうたケ3③（調2/3）	そうじのしかたをかんがえようイウ4④（学2/3） ・廊下等の掃除の仕方 がっこうだすきオ1②（調2/3）	がっこうだすきオ2②（生1）	あいうえおのうたケ3③（調1）
13:30~14:45 掃除 5校時 掃りの準備・終わりの会			掃りの準備・終わりの会	掃りの準備・終わりの会	掃りの準備・終わりの会

<point3> 朝のうきうきタイム
保育所の朝の活動に関連付け、楽しみながらゆるやかに小学校教育に慣れるように時間や活動を設定しています。園で親しんだ歌、手遊び、言葉遊び、絵本の読み聞かせ等を把握して積極的に取り入れることも、子供の意欲や集中力を高めます。

<point5> 大切にしたいこと
教員の保育体験等を通しての気づき

<point6> 校区で目指す力、視点の位置付け
カリキュラム全時間に記号等で明示





特別支援教育ほっと通信

平成30年3月
西部教育局

【参照】特別支援教育 2017 春 No.65
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課一編集

各教科等における障害に応じた指導上の工夫について (平成28年12月21日 中央教育審議会答申より)

中学校及び高等学校も同様です。
幼稚園については、幼児期の特性に応じた
困難さの例が示してあります。

現行

これまでの示し方

小学校学習指導要領 総則

個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。

■ **障害別**の配慮の例を示す。(小学校学習指導要領解説総則編)

弱視：体育科におけるボール運動の指導、理科等における観察・実験の指導

難聴や言語障害：国語科における音読の指導、音楽科における歌唱の指導

肢体不自由：体育科における実技の指導、家庭科における実習

LD(学習障害)：国語科における書き取り、算数科における筆算や暗算の指導

ADHD(注意欠陥多動性障害)、自閉症：話して伝えるだけでなく、メモや絵などを付加する指導 など

新

改善の方向性

小学校学習指導要領 総則・各教科等

■ 総則に加え、**全ての教科等**に示す。

□ 学びの過程で考えられる**困難さ**ごとに示す。

(小学校学習指導要領解説国語編など)

【**困難さの例**】 ※教科等の特性に応じて例示

<情報入力>

- ・見えにくい
- ・聞こえにくい
- ・触れられない など

<情報のイメージ化>

- ・体験が不足
- ・語彙が少ない など

<情報統合>

- ・色(・形・大きさ)が区別できない
- ・聞いたことを記憶できない
- ・位置、時間を把握できない など

<表出・表現>

- ・話すこと、書くことが困難
- ・表情や動作が困難 など

<情報処理>

- ・短期記憶ができない
- ・継次処理ができない
- ・注意をコントロールできない など

POINT 『一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行うためのポイント』

① 学びの過程で考えられる【**困難さの状態**】を教師が把握すること！

② 困難さに対する【**指導上の工夫の意図**】を教師がもつこと！

③ 具体的な指導や配慮などの【**手立て**】を講じること！

①空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合、②空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、③立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取り図や投影図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。(算数科・数学科解説より)